

町民グラウンドの仮設住宅に隣接して店舗、工場を再開 ～『山元町合戦原 仮設施設』～

【 宮城県山元町高瀬合戦原地区 】

名 称 : 山元町合戦原 仮設施設
所 在 地 : 宮城県亶理郡山元町高瀬字合戦原100番地1
種 別 : 仮設店舗・加工場、及び工場
延床面積 : 596㎡
入 居 者 : 理容業、美容業、卸売業、飲食業、製造業等
区 画 数 : 8区画
建物構造 : 軽量鉄骨造1階建て2棟、木造 1 階建て1棟
事業開始 : 平成23年9月2日
完 成 : 平成23年12月22日
供用開始 : 平成23年12月22日

宮城県亶理郡山元町は、宮城県の東南端に位置し、太平洋側は直線的な砂浜海岸となっている。東日本大震災では震度6強を観測し、地震と津波により3,300棟余の家屋が全半壊した。多くの町民が住宅を失い、町内各地に仮設住宅が建設され、町民グラウンドにも179戸の仮設住宅が整備された。

山元町は仮設住宅に入居する町民へのサービス提供と被災された事業者の事業再開の場として、合計8区画の仮設店舗・工場を計画し、中小機構に仮設施設整備を要望した。

平成23年12月22日及び平成24年1月13日に建物工事が完成した。

